

ごみを出す前に ごみの減量を!



家庭から出るごみの処理やリサイクルにはたくさんのエネルギーや費用がかかります。まずはごみを減らすことが大切です。家庭から出されるごみの約8割が可燃ごみで、その約半分が生ごみに含まれる水分です。生ごみはしっかり水切りをして、ごみの減量にご協力をお願いします。

また、普段何気なく捨てているものの中には、ひと手間かければ再利用できるものがあります。ごみの出ない買い方・使い方をすることが一番の基本になります。

☆ごみを減らすため、みなさんも1R+3Rをキーワードにごみの減量に取り組みましょう。

Refuse (リフューズ) ごみになるものを断る

- ・レジ袋は断り、マイバッグで買い物をする
- ・過剰な包装は断る
- ・割り箸、ストローなどはもらわない

Reduce (リデュース) ごみを減らす

- ・水筒を持ち歩き、ペットボトルの使用を減らす
- ・生ごみはしっかり水きりをする
- ・使い捨て商品はなるべく買わない
- ・不要なものは買わない

Reuse (リユース) 繰り返し使う

- ・リフォームや修理をして、ものを大切に使う
- ・フリーマーケットやリサイクルショップを活用する
- ・繰り返し使用できる容器（リターナブルびん）の商品を選ぶ
- ・詰め替えできる商品を買う

Recycle (リサイクル) 再び資源とする

- ・正しく分別し、資源として出す
- ・地域で取り組む集団回収を利用する⇒P15
- ・店舗などに設置されている回収ボックスを利用する⇒P15

「燃やせるごみ」と「資源ごみ・埋立ごみ」の出し方

燃やせるごみ

収集回数：週に2回

□生ごみ、汚れた紙、革製品、スポンジなど

■指定袋を使用して

「燃やせるごみ」集積所へ
出してください。

出すときの注意

- 生ごみは水分をよく切る
- 袋の口をしっかりと結ぶ



資源ごみ・埋立ごみ

収集回数：月に2回

□雑がみ・缶・びん・金物・小型電化製品、資源プラスチック、ペットボトル、がれき類など13分類しています。

■自治会で決められた日時に「資源ごみ・埋立ごみ」集積所の指定のコンテナへ出してください。

出すときの注意

- 中身を使い切って、汚れを落としてから出す
- 電池類ははずしてしっかり分別する

主なごみの分別

ごみの素材は何？

